

JANOG34

「ネットワーク企業は高等教育に 一体何を求めるか、あるいは何も 求めないか」

2014年7月17日

シスコシステムズ合同会社
システムズエンジニアリング
SDN応用技術室 エバンジェリスト

早川 浩平

自己紹介

氏名：早川 浩平（47才）

出身：大阪

経歴：1990年
同年

神戸大学 システム工学科 卒業

日本デジタルイクイップメント株式会社入社

・ネットワークエンジニアとして活動開始

1998年

日本シスコシステムズ株式会社 入社

自治体および学術研究関連のお客様を担当

ATM、IPv6相互接続実験などもサポート

2008年～

独立行政法人 情報通信研究機構

・JGNプロジェクト 特別研究員

2010年～2012年

Interop Tokyo NOCメンバー

2013年

SDN応用技術室 エバンジェリスト

2014年

シスコ17年目突入！

ロボット工学で
画像処理のハードと
ソフトを作っていました

DECnet, ISO/OSI,
TCP/IP, STP,
FDDI, ATMなどを
学びました

シスコ社内のヒアリングより

新卒SE採用担当者の話より

- ◆ポテンシャル採用
- ◆コミュニケーション能力、交渉能力なども必要。
- ◆企業では技術に長けた人だけが必要なわけではない
- ◆人材の多様性が重要（理系でも文系でも）



シスコ社内のヒアリングより

今年の新卒SEの方々の話より

新卒社員4名（理系2名、文系2名）

- ◆（学生時代から）ものづくりをしたかった（IT企業とおもちゃ企業を就職活動）
- ◆興味を持ったものをがんばるのがよい
- ◆大学時代はいろいろと興味を持ったほうがいい
- ◆Keep Learningが重要。大学時代より就職してからの方が圧倒的に情報量が多い
- ◆「学生時代に培ったものを企業で生かしたい」という考えはやめたほうがいい。
- ◆ITなど特定の分野に固執しないほうがいい。視野を広く就職活動したほうがいい。

シスコ社内のヒアリングより

今年の新卒2年目のSEの話より

理系/工学 電気/超伝導技術/大学院卒

- ◆（就職前）電力会社は、維持するイメージ。IT系は新しいイメージ。IT業界をメインに就職活動。スマートグリッドについて勉強
- ◆（就職後）シスコでは地道な作業から。スマートグリッドとかはすぐには出来ない。基本的なところから。仕事は思っていたよりもタフ。人の調整、機材の調整。地道な作業が多い
- ◆ 自分の専門分野に捕らわれないほうがいい。
- ◆ 将来はプロジェクトマネジメント
- ◆ 技術を分かったエンジニアになりたい

これらのヒアリング結果から見えてきたことは…

シスコの場合、人材に対して何を求めているのか？

- ◆ 結局、企業側としては、ポテンシャル（ビジネスマナー、コミュニケーション能力、モチベーション）が一番重要。
- ◆ “ネットワーク技術”に関しては、ほとんど期待していない。
- ◆ 逆に、ネットワーク技術以外や、文系的スキルを経験/習得している方がポテンシャルがある可能性もある。

では、高等教育での「ネットワーク技術」の教育は価値がないということなのか？

そもそも、高等教育で「ネットワーク技術」の教育を受ける/行なう目的は何なのか？

- ◆ ~~就職活動に有利になるため~~
- ◆ ネットワーク自身に興味を持つため
 - ✓ 知らないことには興味も沸かない
- ◆ ネットワーク技術習得ための活動を通じて人材のポテンシャルを高めるため
 - ✓ JANOG meeting, Interop STMなどの活動を通じて

自分自身の価値観も含めて重要だと思うこと

**「ネットワーク」を
使うことを楽しむこと**

「楽しむこと」はモチベーションにつながる。

「楽しむこと」は新しい発想につながる。

「楽しむこと」は人と人をつなぐ。

そして、ネットワークに関する仕事をするということは、

**「ネットワークを使う人」
を支えているという充実感**

ネットワーク企業は高等教育に一体何を求めるか、あるいは何も求めないか？

「ネットワーク」を
使うことを楽しむこと

「ネットワークを使う人」
を支えているという充実感

高等教育では、「ネットワーク技術」自身の教育だけではなく、こういうふうに「ネットワーク」を思えるような学習や経験

Thank you.

